

令和5年度

本校のコミュニティ・スクールについて

令和5年度 南小学校学校運営協議会について（案）

新名称「南小コミスク めぬぎびと」

☆ **対話と活動のコミュニティ・スクール**

☆ 「参画 協働 共汗 共創」の地域学校協働活動

～ **ちよつとのできるを持ちよる めぬぎびとの活動** ～

協議会委員

自治振興会長、社会教育委員・地域学校協働活動推進員、学校支援コーディネーター、民生児童委員、見守りボランティア、認定こども園めぬぎ副園長、P T A、学校の教育活動支援者・ボランティア、校長、教頭、担当教諭等

協議内容

会議：年間3回（5・10・2月）＋ コミスクオフ会 ＋ コミスクカフェ（適宜）

協議内容：学校運営の基本方針の承認 ・ 学校運営への意見 ・ 学校評価
学校と地域の諸課題について、学習支援・連携事業（行事）について

学校運営協議会委員と共有すること



心

やり抜く力

思いやり

協調性

辛抱する力



規範意識

学力（基礎・基本）

社交性

社会的自立と社会参画の力



基本的な生活習慣

主体性

ふるさと意識

自制心

体力



人は、人を浴びて人になる

「南小コミスクぬぬぎびと」でめざす3つのこと

「社会に開かれた教育課程」の実現

⇒ **子どもの資質・能力を伸ばす**

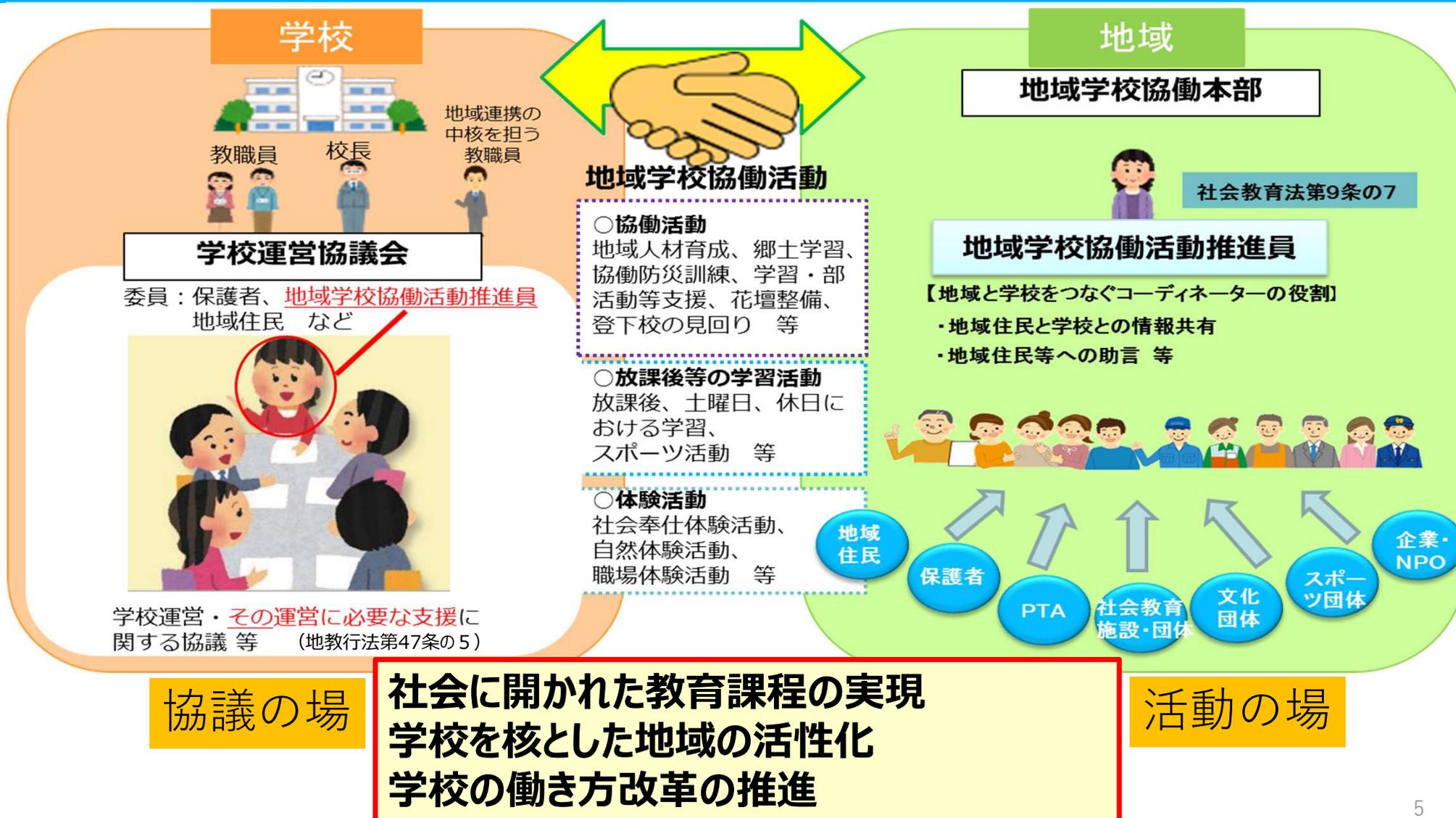
学校を核とした地域の活性化

⇒ **地域社会への参画意識を高める**

学校の働き方改革

⇒ **子どもと向き合う時間の確保できる
本分の学習指導に注力できる**

学校運営協議会と地域学校協働活動の一体的推進



南小コミスクぬぬぎびとの将来ビジョンの共有

沼貫地区の将来ビジョン

「ここに住みたい『きらめく沼貫』」

南小学校の将来ビジョン

「この学校で学びたい・学ばせたい『ときめく南小』」

令和5年度 南小学校学校運営協議会の活動のビジョン

「子どもが主役の地域に開かれた、地域とともにある学校づくり」

～参画・協働・共汗・共創の地域学校協働活動～

令和5年度 南小コミスクぬぬぎびとの活動について（案）

- ①登下校の安全見守りの取組
- ②学校の教育活動をサポートする学びボランティアの拡充
- ③地域連携による教育課程の編成(例：防災教育)
- ④早寝早起き朝ごはんの推進
- ⑤礼儀とあいさつの推進
- ⑥P T Aと地域の連携による効果的な事業の検討
- ⑦活動拠点づくり
- ⑧広報活動（SNS等） など

**まずは、子どもに関わる大人が元気でないと、楽しくないと、
充実感や幸福感がないとはじまらない**

令和5年度 南小コミスクぬぬぎびとの活動について（案）

P T Aと地域の連携による効果的な事業の検討

「令和5年度 PTCA活動支援事業の連携」

PTCA のCは「Community」（地域）

PTAに地域住民（Community）が協働・参画することで、地域の子どもたちは地域で育てるという「共育」の気持ちをつくり、それがまちづくり、人づくりにつながればという思いで事業が始まりました。

令和5年度は、南小PTAが実践指定PTAに当たっており、12月頃、市内の実践を持ちより、学びあうPTCA活動実践交流大会が予定されています。

**例えば、このPTCA活動を南小コミスクと連携して無理なく、
無駄なく、負担なく、楽しく取り組めるかも。**

チームぬぬぎ(ちいき)の学校

子どもが主役の地域に開かれた、地域とともにある学校づくり
～参画・協働・共汗・共創の地域学校協働活動～

ちよつとのできるを持ちよる ぬぬぎびと

「ぬぬぎびと」って？

南小学校の地域学校協働のこと。「自分の中の学び」「関わる人との学びあい」を大切に活動していく人のことをイメージしました。

自分が人との関わりの中で感じたこと、例えば嬉しかったこと、価値観の違いなどを知ること、学んだことをトピックスにする。

「ちよつとのできるを持ちよる」って、

負担なく、得意としていることを持ちより、みんなの「ちよつと」を出しあうことで「もっと」よくなる活動にしたい。
楽しく、ワクワクしながらみんなと関わり合える活動にしたいという思いを込めています。

「南小カフェタイム」の取組

取組み始めた経緯 別紙(南小学校地域学校協働活動の取組みについて)の1のコミュニティフォーラムの際にぬぬぎカフェという場づくりを学校関係者の方々に知って頂き、コーディネーターとしての役割を担うタイミングで、学校の中で私と教職員の方々との交流の場づくりの提案を当時の教頭先生からされる。

地域の方々と関わる事が限定的だった教職員の方々と、何気ない会話や交流を積み上げてコミュニケーションを取る事で関係を築き上げる事が出来るのではないかと考えていました。

現在の状況 地域の方々もカフェタイムにお越しになる様になり、先生方と学校現場の課題の共有を**ざっくばらんに本音で語り合い**ながらお茶を楽しんでいます。

【取組で獲得したいもの】

学校・家庭・地域の連携・協働の一体的推進にあたり互いの信頼関係の構築、困りごと(課題)の共有、様々な取組への関心を深める機会やアイデア集め、教職員の方々との**“本質的な協働”(概念)**を学び合う機会の創出

南小カフェタイム ～ちょっと美味しい珈琲を楽しむ時間～

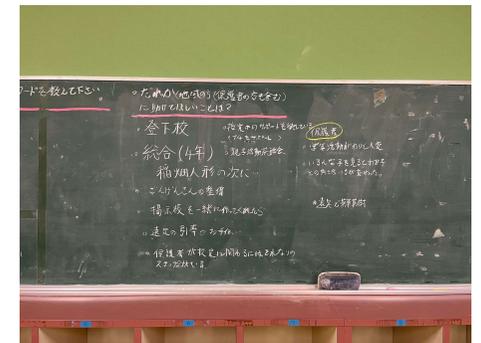
[内容]

日時：月曜日か水曜日(月二回程度) 15:00～16:00

期間：1月に3年ぶりに復活し今後は毎月開催予定

準備：珈琲を淹れる用意、茶菓子(松本)

料金：珈琲1杯100円



「コミスクオフ会」の取組

取り組み始めた経緯 学校運営協議会会長(以下会長)と学校長との協議の中で年三回の定例の学校運営協議会とは別にオフミーティングを開き、地域学校協働の理解を深める機会が必要だということになり、今年度の7月からスタートしました。

オフ会では地域内外の多種多様な方々との交流の場を作り、学校と地域それぞれのビジョンの擦り合わせ、そして様々な取組が生まれる貴重な機会となっています。

【取組で獲得したいもの】

学校・家庭・地域の一体的な連携・協働の推進にあたり互いの信頼関係の構築、困りごと(課題)の共有
様々な取組への関心を深める機会やアイデア集め、地域住民(保護者を含む)の協働参画意識の向上

コミスクオフ会 南小コミスクぬめぎびと～ちょっとのできるを持ちよる～

[内容]

日時：平日の夜間 月一回 19:00～21:00

期間：7月から毎月開催中

場所：ぬめぎびとの部屋(体育館2階 MTGルーム)

対象：南小コミスクぬめぎびとに共感してもらう方ならどなたでも。



チームぬぬぎ(ちいき)の学校
プロジェクト

子どもが主役の地域に開かれた、地域とともにある学校づくり
～参画・協働・共汗・共創の地域学校協働活動～

～ちょっとしたのできるを持ちよる んぬぎびと～

1回でも、1時間でも学校で、子どもと触れ合い、学びをご支援いただける方を募集

学習

- 学習支援(放課後含)
ミシン操作
調理実習 等
- 朝の体操・学習支援
- 総合・生活の準備、当日サポート
- キャリア教育支援
(職場体験・見学先などの受入)
- ICTの補助
- ALTの補助
- 学習支援(長期休み)

生活

- 給食配膳支援
- 早寝早起き朝ごはん運動

ボイスシャワー・勇気づけ

- あいさつ運動
- 登下校見守り・声かけ

環境・防災

- 登下校安全指導
- 花壇整備(プランター苗植え)
- 運動場整備・校内清掃
- 校内整備(図書室環境整備等)
- 昼休み、休み時間サポート
- 掃除時間補助

行事・活動

- クラブ活動講師
- 参観日受付
- 運動会・音楽会
- マラソン記録会
- 校外学習(サポート・引率)

～ちょっとしたのできるを持ちよるぬぬぎびと～ 〈学校を活用した大人の学びあいの場〉 みんなのぬぬぎ学校プロジェクト(イメージ案)

大人の学習(例)

- 園芸教室(校庭)
- パソコン教室
- 英語教室
- 手話教室
- 料理教室(家庭科室)
- 音楽教室(音楽室)
- サイエンス教室(理科室)
- 読書の教室(図書室)
- 創作教室(図工室)
- 歴史学習教室

大人の行事・活動(例)

- 社会見学(地域再発見)
- 学習発表会
- 運動会・スポーツ大会
- 音楽会

「みんなのぬぬぎ学校」は、「みんなが先生、みんなが生徒、南小学校をみんなの教室に」を合言葉に、ぬぬぎの「学びの場」や学んでいる人や活動が連携して、南小を拠点にした「楽しく学べるまちプロジェクト」です。ぬぬぎ地域や市内に既にある「学びの場」を活かし、楽しみながら連携するプロジェクトです。



シンボルマークに込めた思い

○カラー 青は加古川・空

茶は栗・土

緑は山・木々

「の」の赤は小豆

小豆から目が出ていることから地域の豊かさを表現

「ぬぬぎびと」の黒は黒豆

○円が開いているのは、ぬぬぎ内外の人が入りやすく出やすく、フランクに関われる地域を表現しました。

○子どもたちに、ぬぬぎ地域で連想する色やイメージを聞き取り、カラーやデザインを考え、この地域がいつまでも豊かで幸せであってほしいという思いを込めてデザインしました。

ちよつとの

できるを持ちよる

ぬぬぬきびと